

国民健康保険事業特別会計

問い合わせ：留萌市市民健康部市民課保険給付係
(Tel 0164-42-1805)

総括

平成29年度の国民健康保険事業特別会計の決算状況は、歳入2,631,365,503円に対して、歳出2,556,155,543円であり、歳入歳出差引75,209,960円の黒字となり、平成27年度決算において累積赤字を解消した後、黒字を維持していますが、単年度収支については平成23年度決算以来となる833,543円の赤字となりました。

歳出においては、前年度決算で国民健康保険基金への積立を行ったこともあり、前年度と比較して総額で減少しました。しかしながら、歳出の約6割を占める保険給付費においては、被保険者数の減少もあり平成26年度以降減少を続けていましたが、前年度より増加しました。一方、歳入においても、被保険者数の減少による国民健康保険税の減少に加え、前期高齢者交付金や道支出金などの減少、平成26年度から行っていた一般会計からの特別支援繰入が終了したことにより減少しました。

平成11年度決算より続いた国民健康保険事業の累積赤字は解消されましたが、国民健康保険事業の構造的な収支は依然として厳しい状況が見込まれています。平成30年度からの国民健康保険制度の都道府県単位化に対応していくため、納付金制度を通じた国民健康保険税の平準化や適正賦課額の検証を進めるとともに、引き続き、特定健診、特定保健指導やジェネリック医薬品の利用促進などにより医療費の適正化を図り、持続可能で安定的な国民健康保険事業の運営に努めてまいります。

収入

(単位:千円、%)

- ①国民健康保険税は、収納率は向上しているものの、被保険者数や所得の減により、減少しています。
- ②国庫支出金は、療養給付費負担金や調整交付金の増などにより増加しています。
- ③療養給付費等交付金、④前期高齢者交付金、⑤道支出金については、対象給付費の減などにより減少しています。
- ⑥共同事業交付金は、対象給付費の増などにより増加しています。
- ⑦繰入金は、平成26年度から行っていた一般会計からの特別支援繰入が終了したことにより減少しています。

予算科目	平成29年度				平成28年度		平成28年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
① 国民健康保険税	305,381	325,504	12.3	20,123	344,034	12.6	△ 18,530	△ 5.4
② 国庫支出金	530,515	568,939	21.6	38,424	474,125	17.3	94,814	20.0
③ 療養給付費等交付金	70,499	52,691	2.0	△ 17,808	83,596	3.0	△ 30,905	△ 37.0
④ 前期高齢者交付金	728,800	728,801	27.7	1	904,828	33.0	△ 176,027	△ 19.5
⑤ 道支出金	120,884	115,439	4.4	△ 5,445	177,684	6.5	△ 62,245	△ 35.0
⑥ 共同事業交付金	548,244	562,327	21.4	14,083	431,291	15.8	131,036	30.4
⑦ 繰入金	295,947	194,180	7.4	△ 101,767	273,644	10.0	△ 79,464	△ 29.0
⑧ 繰越金	76,043	76,043	2.9	0	42,882	1.6	33,161	77.3
⑨ その他	4,813	7,442	0.3	2,629	5,211	0.2	2,231	42.8
合計	2,681,126	2,631,366	100.0	△ 49,760	2,737,295	100.0	△ 105,929	△ 3.9

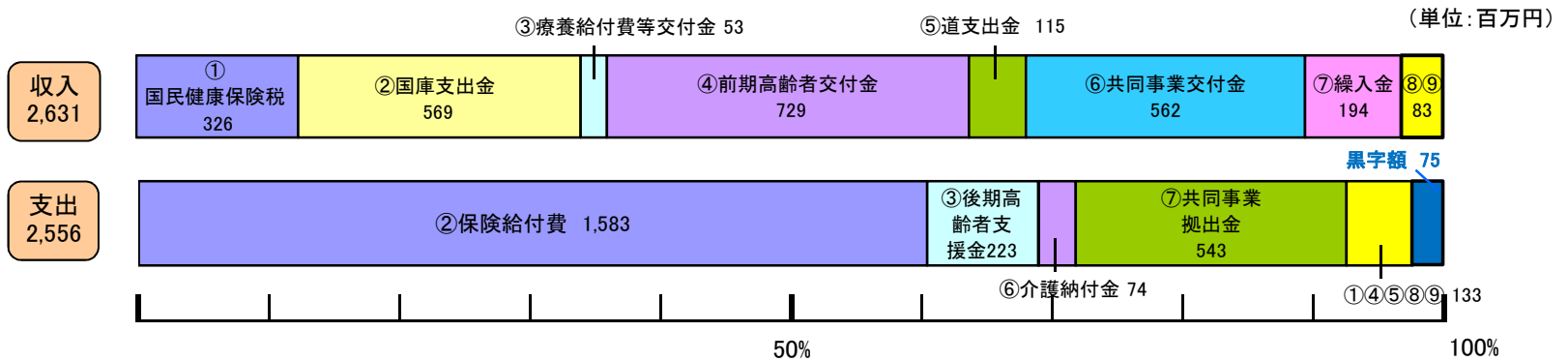
支出

(単位:千円、%)

- ①総務費は、平成30年度からの国保都道府県化に伴う電算システムの導入や改修経費が多額になったため、増加しています。
- ②保険給付費については、支出の約6割を占めており、国保会計全体に大きな影響があります。今年度は被保険者数及び受診件数が減となったものの、1件当たりの医療費が増となったことに伴い増加しています。
- ⑦共同事業拠出金は、拠出対象額の減により減少しています。
- ⑨その他は、平成28年度に国民健康保険基金への積立を96,000千円行っていることから大幅に減少しています。

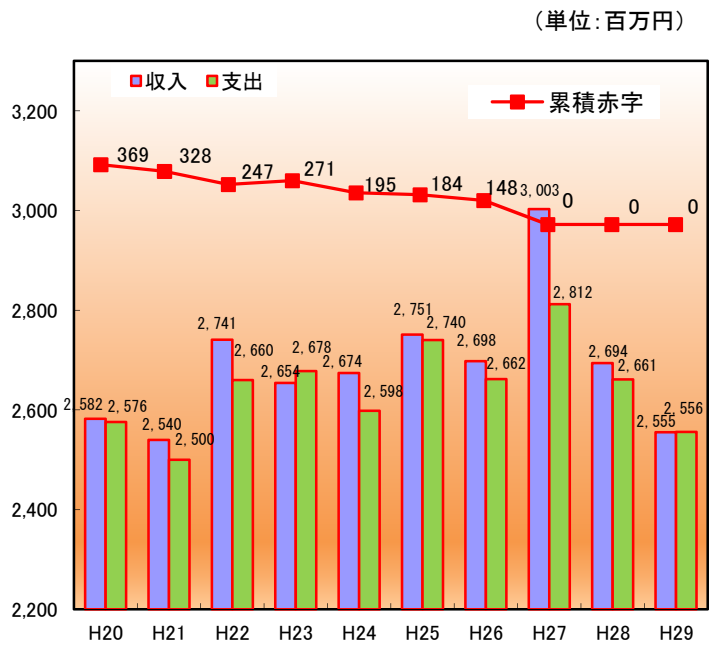
予算科目	平成29年度				平成28年度		平成28年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C(A-B)	C/B
① 総務費	74,614	70,158	2.8	△ 4,456	44,262	1.7	25,896	58.5
② 保険給付費	1,652,370	1,583,238	62.0	△ 69,132	1,578,106	59.3	5,132	0.3
③ 後期高齢者支援金	223,003	223,001	8.7	△ 2	234,243	8.8	△ 11,242	△ 4.8
④ 前期高齢者納付金	848	847	0.0	△ 1	164	0.0	683	激増
⑤ 老人保健拠出金	6	5	0.0	△ 1	9	0.0	△ 4	△ 44.4
⑥ 介護納付金	74,328	74,327	2.9	△ 1	78,013	2.9	△ 3,686	△ 4.7
⑦ 共同事業拠出金	588,037	542,336	21.2	△ 45,701	579,842	21.8	△ 37,506	△ 6.5
⑧ 保健事業費	22,447	17,868	0.7	△ 4,579	17,371	0.7	497	2.9
⑨ その他	45,473	44,376	1.7	△ 1,097	129,242	4.8	△ 84,866	△ 65.7
合計	2,681,126	2,556,156	100.0	△ 124,970	2,661,252	100.0	△ 105,096	△ 3.9

平成29年度
決算
(グラフ)

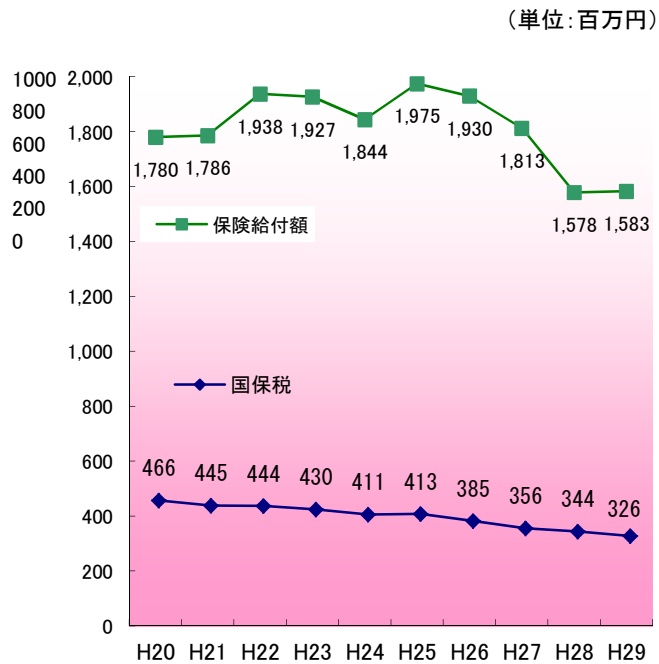


収支の状況(平成29年度決算)

単年度収支と累積赤字の推移



国保税と保険給付額の推移



国民健康保険事業は、加入者の高齢化や低所得者層割合の増加などにより、平成11年度から抱えてきた累積赤字を平成27年度で解消しました。

その主な要因としては、平成27年度の単年度収支が1億9千万円の大黒字となったためであり、前期高齢者交付金の過大交付による影響と、平成30年度の広域化に向けた累積赤字解消のため、一般会計より計画的な繰出を継続実施した影響によるものです。

医療費については、被保険者の減少もあり平成26年度以降減少を続けていましたが、平成29年度においては、1人あたりの医療費単価が増加したことにより、医療費は前年度より増加しました。留萌市国保の特徴として65歳から74歳までの前期高齢者の割合が多いことが挙げられ、医療費が増加する一因となっています。

一方で国保税の収納率は着実に向上しているものの、被保険者数及び所得の減少などから税収は減少し続けており、構造的に収支は厳しい状況にあります。

今後も、収納対策の強化に努め、特定健診・保健指導による生活習慣病の予防・重症化の防止、ジェネリック医薬品の積極的な利用を着実に推進することで医療費の適正化を図り、健全な財政運営に努めてまいります。

平成30年度執行状況(9月30日現在)

収入

全体の収入率は42.7%であり、これは国保税納期未到来分の影響のほか、国・道の補助金等の交付時期や繰入金の処理等が年度末に集中していることによるものです。

国保税については、引き続き収納率の向上を図り、予算額の確保に努めていきます。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
① 国民健康保険税	297,406	130,139	43.8
② 道支出金	1,559,010	694,411	44.5
③ 財産収入	10	0	0.0
④ 繰入金	202,868	0	0.0
⑤ 繰越金	44,756	75,210	168.0
⑥ 諸収入	4,888	1,489	30.5
合計	2,108,938	901,249	42.7

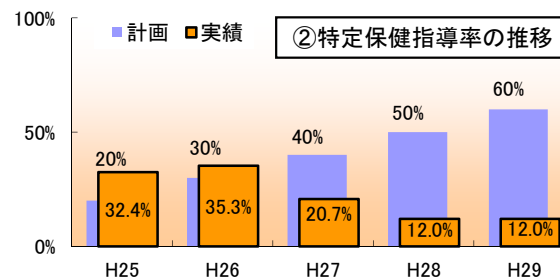
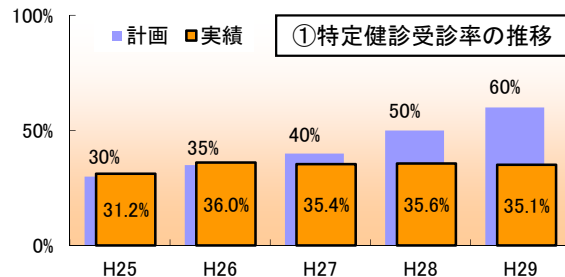
支出

全体の執行率は41.0%であり、②保険給付費をはじめ、予算額内での執行となっており、今後も経費節減に努めながら予算を適正に執行していきます。⑨諸支出金については、平成29年度の国庫支出金にかかる精算返還金等です。

(単位:千円、%)

予算科目	平成30年度支出状況		
	予算額	支出済額	執行率
① 総務費	52,012	24,931	47.9
② 保険給付費	1,526,394	697,767	45.7
③ 国保事業費納付金	459,359	133,387	29.0
④ 共同事業拠出金	10	0	0.0
⑤ 保健事業費	25,298	5,234	20.7
⑥ 基金積立金	10	0	0.0
⑦ 公債費	100	0	0.0
⑧ 予備費	1,000	0	0.0
⑨ 諸支出金	44,755	2,584	5.8
合計	2,108,938	863,903	41.0

特定健診・保健指導の状況(平成29年度)



留萌市の特定健診等の状況は、第2期留萌市特定健康診査等実施計画の最終年度である平成29年度で、特定健診受診率、特定保健指導率ともに、計画目標を達成できませんでした。厳しい結果となりましたが、特定健診や特定保健指導の実施により、生活習慣病の発症・重症化予防対策を進めていきます。

「特定健診・保健指導」を利用することで、健康な体を維持・向上していくことが大切です。いつまでも健康な生活を送るため、毎年健診を受診して自分の健康をチェックしましょう。